

第3号議案 平成18年度事業計画(案)について

平成18年度事業計画(案)

自 平成18年01月01日

至 平成18年12月31日

近年、廃木材は、最も有効なバイオマス資源として各方面から脚光を浴びており、特にCO₂削減のための手段として発電用燃料への利用計画がめじろ押しで、その計画需要量は、年間300万トンにも達すると推定されている。

その結果、木材資源のリサイクル市場が混乱期に入るともいわれており、ボード原料や製紙原料などのマテリアル分野への供給がますます困難になるものと考えられている。

これら需要増は、木材チップ等の生産者にとって歓迎すべきであるが、反面、廃木材等の原料確保がますます困難になる可能性があり、その対策が極めて重要となってくる。

このため、連合会としては、会員への適切な情報の収集伝達に努め、会員相互の連携はもとより、関係機関及び関係業界とより一層の連携強化を図る必要がある。

特に、資材確保の観点から一般廃棄物木材の産業廃棄物移行の強化要請を始め、未利用資源の宝庫である林地残材の確保対策に向けて森林保全施策への参画を始めとする積極的な取り組みが必要である。

そのため、平成18年度は、別紙(案)に沿って次の事業を実施する。

1. 調査研究事業

(1) 木材資源需給実態及び需給動向調査事業

協会別・地域別に木材資源のリサイクル状況を定期的に把握(入・出荷量調査等)するとともに、林地残材等未利用資源の掘り起こし等を行う。

(2) リサイクル促進及び経営安定調査研究事業

木材資源のリサイクルに係る課題を抽出し構造的解決方を検討する。

(3) 会員拡大推進事業

九州協会の再建及び会員不在県の解消に努め、賛助会員の勧誘を図る。

2. 情報提供事業

(1) 情報プロジェクト会議活用事業

情報の収集伝達を強化するため、調査及び広報活動検討委員会を設置する。

(2) 国等関係機関情報交換推進事業

国・都道府県及び関係業界との連携を強化し有益な情報を会員に提供する。

3. イベント・セミナー等開催事業

理事会及び講演会・シンポジウム等を地域開催し、環境展等にも参加する。

平成18年度連合会活動スケジュール(案)

月	会議	イベント	調査	広報
1	第1回協会長会議(東京1/20) 九州協会設立準備会議(熊本:2/3)		連合会基本調査まとめ	HP:情報更新・管理
2	近畿協会例会(大阪2/17) 第1回連合会理事會(山形2/20)		バイオマス(木材)需要量調査	HP:基本調査結果発表
3	北日本協会総会(仙台3/3) 連合会定例総会(東京3/22)	第3回時局講演会(東京)	関係国庫補助事業採択調査	HP:総会・講演会情報ほか
4	京都協議会例会(京都) 九州協会設立会議(熊本)		関係法令制定・改正等調査	HP:バイオマス調査結果発表
5	東海協会例会(名古屋) 中四国協会例会(岡山)	環境展共同出展(連合会・協会)	会員協会活動実態調査	HP:関係法令制定・改正特集
6	九州協会設立総会(熊本) 第2回協会長会議(熊本)	第1回シンポジウム(熊本)	未利用木材資源開発調査	第1回会報発刊
7	協会事務局担当者会議(東京) マテリアル関連業界懇談会(東京)		連合会会員入出荷量実態調査	HP:会員協会活動特集
8	サーマル関連業界懇談会(東京) 資材供給関連団体懇談会(東京)		国等への要望事項調査	HP:来年度予算要求特集
9	第2回連合会理事會(岡山) 中四国協会例会(岡山)	第4回時局講演会(岡山)	木材チップ等生産優良事例調査	HP:要望事項調査結果発表
10	東海協会例会(名古屋) 京都協議会例会(京都)	国への要望	関係団体活動状況調査	HP:未利用調査結果発表
11	北日本協会支部会議(山形他) 九州協会例会(熊本)		来年度補助事業実施要望調査	HP:優良事例調査結果発表
12	賛助会員懇談会(東京) 第3回協会長会議(東京)		正会員・賛助会員アンケート調査	第2回会報発刊